

7

いつまでも住み続けたい村づくりのために 「村に貢献できる“ひと”」を地域と共に育みます

ふるさと学習

- ◆各学年の学びのテーマは「白川村村民憲章」がベース
- ◆各学年に2名ずつの地域コーディネーターを配置
- ◆地域教材「ひと・もの・こと」を直接学ぶ体験学習
- ◆村の過去・現在そして未来について考え挑戦する学習
- ◆関わる地域の大人も子どもと共に白川村の未来について考える学習

自然と一緒に楽しく暮らす

1年生 白川村の自然のなかで たっぷり楽しむ

コーディネーター
坂本 磨紀さん(平瀬)
大豆村伸也さん(御母衣)



美しい風土を誇り 自然を守ります

春には大白川の草木で遊び、夏は川遊び、秋は馬狩で秘密基地を作り、三方岩にも登ります。白川村の魅力を五感で感じながら、季節によっていろいろな楽しみ方があることを学びます。白川村の自然の魅力を、家族や地域の人に語る姿をめざします。

「不変」と「変化」

4年生 合掌造りを未来に繋 不変と変化を考える



豊かな文化をたっぴ 伝統を生かします

2年生 自然にかかわる 仕事や活動を体験する

コーディネーター
白木 光成さん(飯島)
山田 雅彦さん(鳩谷)



美しい風土を誇り 自然を守ります

自然に関わる仕事や活動を地域の方と一緒に体験することを通して、自然を大切にするこの意味やよさを考えます。また、白川村の豊かな自然を大切にするために、自分たちが出来ることを仲間、地域の方、家族と考え合う姿をめざします。

5年生 祭りや伝統芸能など 繋ぐための不変と変



豊かな文化をたっぴ 伝統を生かします

3年生 自然を生かした豊かな(楽しい) 生活の仕方を考える

コーディネーター
木下則由紀さん(飯島)
新谷 円さん(御母衣)



きびしい自然に負けず たくましく生きます

山々に囲まれた生活や、厳しい冬の生活の中で工夫してきた村民の知恵や技などを学びます。また、現在における自然を生かした豊かな(楽しい)生活の仕方を見つめ、自分たちも自然を生かした楽しく豊かな生活の仕方を考え、挑戦する姿をめざします。

6年生 これまでの学びを見 白川村の魅力を考え、



純朴な心を失わず 感謝の生活をします

白川村全体を「教室」、白川村のひと、もの、こと全てを「先生」としてリアルな探究学習を行い、村で活躍する様々な人の生き方、考え方に触れることを通して、自分の生き方を見つめ、将来、大人になっても白川村を心の拠り所として、グローバルな視野で活躍できる子どもを育てます。

■将来の担い手として…

- ① 村を深く愛する
- ② 村（ひと、もの、こと）を深く理解する
- ③ 村の未来を考える（仲間と、家族と、大人と）
- ④ 村への貢献活動に挑戦する
- ⑤ 村のために活動することで自信をもつ

白川村民憲章

昭和五〇年十一月一日制定
告示第一〇八号

わたくしたちは、霊峰白山のふもと、美しくきびしい自然と、香り高い文化に恵まれた白川村民です

・美しい風土を誇り

自然を守ります

・純粹な心を失わず

感謝の生活をします

・豊かな文化をたつとび

伝統をいかします

・きびしい自然に負けず

たくましく生きます

・たがいに力を合わせ

住みよい村をつくります

を考え未来に繋ぐ

ぐための

コーディネーター
松本 継太さん(御母衣)
和田 真樹さん(荻町)
尾崎 達也さん(荻町)

合掌造りについて、他の地域と比較して調べたり、合掌造りの技術を体験したりします。その中で、白川村の合掌造りを未来に繋ぐためには「何を変えてはいけぬのか」「何を変えていかなければいけないのか」、伝統を守り続けることの大切さや難しさについて自分たちなりに考える姿をめざします。

未来に向かって挑戦する

7年生

村の担い手(大人)の想いや活動を知り、自分の生き方考え方を見つめる

コーディネーター
新谷さゆりさん(御母衣)
滝 麻衣子さん(荻町)



たがいに力を合わせ 住みよい村をつくります

村の担い手さん(大人)と語り合ったり、実際に担い手体験(職場体験)を行ったりすることを通して、担い手さん一人ひとりの願いや思い、苦労などを考えます。そこから、学んだことを活かし、自分たちにできることを考え、学園の担い手として貢献する姿をめざします。

を未来に
化を考える

コーディネーター
下山 勝巳さん(荻町)
南 昌和さん(鳩谷)

伝統行事や芸能について、他地域と比較、実際に地域の方へ取材し、伝統行事や芸能の体験をします。その中で、伝統行事や芸能を未来に繋ぐためには、どんな「不変」や「変化」が必要なのか、4年生での学びを生かしながら、伝統行事や芸能を未来へ継承することの意味や方法を考える姿をめざします。

8年生

これまでの学びや村の現状から、伝えたい村の魅力や現状を発信する

コーディネーター
柴原 孝治さん(平瀬)
前田 法明さん(鳩谷)



たがいに力を合わせ 住みよい村をつくります

地域で生きるその道のプロ、担い手の話や1年生から7年生までの学びで得た情報を基に、「自然」、「人のつながり」、「教育」等、自分たちが考える村の豊かさや改善点について、より効果的な情報発信の方法を考え、白川村の広報係として実践する姿をめざします。

つめ、
発信する

コーディネーター
和田 正人さん(荻町)
川田 晋也さん(荻町)

これまでの学んできた、村の魅力を自然・伝統・芸能の視点から見つめ直し、その魅力を守り続けることの価値について考えます。また、村の『観光大使』として、村を訪れる村外の人たちや、村内の人たちに向けて、自分たちが考える白川村の魅力を自分たちなりに発信する姿をめざします。

9年生

村のよさや課題から村の発展を考え、自分の生き方を見つめる

コーディネーター
山田 俊行さん(鳩谷)
新谷さゆりさん(御母衣)



たがいに力を合わせ 住みよい村をつくります

村のよさ、課題と施策から、未来の白川村の発展について考え、企画・実行できることについて考えます。9年間の学びから、ふるさと白川郷を心の拠り所に、自分はどのように生きるかを考え、実践したり仲間や家族と語り合ったりする姿をめざします。